

いきいき教室（児童ものづくり教室）《児童デイの試行》

第423回 2014.4.25（金）ペーパーマッシュで作る飾り皿

ペーパーマッシュとは

ペーパーマッシュは英語で“張り子”を意味しています。竹や木などで組んだ枠、または粘土で作った型に紙などを張りつけ、成形する造形技法のひとつです。紙でできているため外観と比較して軽いのが特徴です。張り子の技術は2世紀に中国に始まり、アジアやヨーロッパに伝わったといわれ、日本には室町時代頃に中国から伝來したとされています。

日本全土でみられる技法で、郷土玩具などに用いられています。

テーマ

自分の好きな色、柄、デザインを知る。

準備 好みのペーパーを用意する。

染料を糊に溶かしておく。

土台の紙皿に、シールを貼る。

レジャーなどに使う紙皿には、シリコン加工がしてあるため一般的なのりで貼り付けることが難しい。
シールを貼ることで、のりをつける土台にします。



作り方

①土台となる紙の皿に、ペーパーをのりで貼る。



貼り付ける紙を湿らせると
土台にぴったりと沿って
紙が張り付く。



表、裏ともに貼れたら乾かす。
のりが手につかない程度でOK。

いきいき教室の様子を、ブログでご覧いただけます。

「わくわくつくログ」
<http://waku2.npoart.com/>



制作 岡イーエム ミニナルアート
MOA
<http://mininaru.com/>

②仕上げにニスを塗る。



乾いて完成!!

いろんな方法で飾ろう

紙を染めながら、接着を同時に行う。



染料にのりを溶かし
白い紙を貼り付けて
いく。



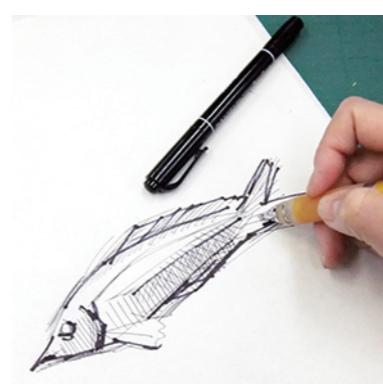
透明な糊に、ラメを入れて塗る。



糸などのあまり凹凸の気にならない
ものをはる。



あらかじめカタチを切り抜いてはる。



水性の接着剤を使用しているので
油性の筆記用具や絵の具を使うと
貼り付けた時に、絵がにじむのを
防ぐことができる。



ペーパーのイラストや
テンプレートを利用